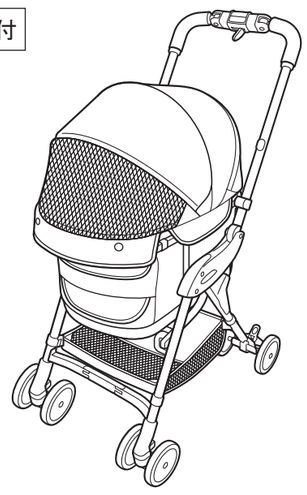
Compet

ペットカート
milimili
取扱説明書

品質保証書付



ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、**正しくお使**いください。

- 本書は大切に保管してください。
- 本製品を他のお客様にお譲りになるときには、必ず本書もあわせてお渡しください。
- この製品は**犬専用ペットカートです。**
- 望ましい連続使用時間：1時間以内
- 使用できる**愛犬の条件：2匹以下、合計体重12kg 以下**
- ご使用中は、**つねに愛犬および周囲の安全にご配慮いただき、**公共のルールとマナーを守って、正しくご使用いただけますようお願いいたします。

コンビ株式会社

商品に関するお問い合わせ、部品購入、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ(Customer Service Center)
〒339-0025　埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271
受付時間:10:00 ～17:00（日祝日、年末年始を除く）
■総合受付（各種ご相談）窓口　商品に関するお問い合わせ／修理のご要望／部品販売／各種ご相談／その他
TEL.(048)797-1004　FAX.(048)798-6109

143096160　12.8

安全にご使用いただくために

●製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。
ここに記載した内容を無視した場合、愛犬およびご使用者のかたが重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。

●ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、愛犬およびご使用者への危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」・「注意」の2つに区分して示してあります。
安全のため必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠警告	誤った取り扱いをすると、愛犬または人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、愛犬または人が傷害を負ったり物的損害の可能性があります。

●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

⚠	警告/注意を**うながす内容があることを告げるものです。**
✕	禁止行為であることを告げるものです。
ワンポイント	補足説明

⚠警告　取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

愛犬の健康を損なうおそれがあります。

- 愛犬に異変を感じたときは、すぐに使用を中止してください。
- 夏季の晴天日中などは、路面の影響により**キャリー内の温度が高くなるため、**長時間の使用は避けてください。
- 車の中や**暖房器具の近くなどの温度が高くなることが想定される場所に愛犬を**入れたまま放置しないでください。

愛犬が落ちたりペットカートが折りたたまれるおそれがあります。

- 開閉ロックが確実にかかっていること（**ペットカートが完全に開いた状態であ**るか）を確認してから使用してください。
- 階段、エスカレーター、大きな段差のあるところ、また、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。
- 破損や異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。
当社コンシューマープラザにご連絡ください。
- **愛犬を乗せたまま、ペットカートを持ち上げないでください。**

ペットカートが転倒して、愛犬が落ちるおそれがあります。

- **愛犬を乗せているとき、カゴ以外のところに荷物をのせたり、つるしたりしな**いでください。特にハンドルにつるすと不安定になり、**ペットカートが転倒する**おそれがあります。
- 愛犬のリードを、ハンドルなどにつながないでください。**ペットカートが転倒**するおそれがあります。
- ペットカートに同時に３匹以上の愛犬を乗せたり、愛犬を**キャリー以外のとこ**ろに乗せないでください。
- ご使用中にハンドルに**寄りかかったり、荷物をつるすなどハンドルへの過度の**荷重はかけないでください。

愛犬が落ちるおそれがあります。

- 専用リードを必ず使用してください。また、確実に取り付けられていることを確認してから使用してください。
- 愛犬は**思わぬ動作をしますので、ご使用中はつねに目を離さず、十分注意してご使**用ください。

ペットカートが動き出したり、転倒するおそれがあります。

- ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても、動き出したり転倒するおそれがあります。
- **愛犬を乗せたまま、ペットカートから離れないでください。**
- ペットカートは**空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場**所に放置しないでください。

愛犬がケガをするおそれがあります。

- **車体の開閉や、キャリーの合体操作をするときは、そばに人（特に小さい**お子さま）や愛犬を近づけずに行ってください。
指や手などをはさんだりするおそれがあります。
- 幌の開閉操作をするときは、愛犬に注意し操作を行ってください。体をはさんだりするおそれがあります。

⚠注意　取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ペットカートが破損するおそれがあります。

- **愛犬を乗せる以外の目的で使用しないでください。**
目的外の使用では破損などのおそれがあります。
- 専用リードの**長さは、必ず調節してください。**
思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **ペットカートに大人が腰かけたり、過度の荷重を加えないでください。破損、**故障の原因となります。
- ペットカートを**押すときは走らないでください。走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。**
- 出荷時に取り付けられている部品および当社指定の部品以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **車体にはお子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでくだ**さい。
車体の**破損の原因となります。**
- 段差を乗り越える場合は、前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。
段差を無理に乗り越えようとすると、前輪に衝撃が加わり、破損・故障の原因となります。
- 買い物カゴには**3kg 以上の荷物を入れないでください。**
破損の原因となります。
- 線路や排水口などの路面の溝に車輪を取られたり、はさまないように、溝の部分は前輪を浮かせて進んでください。
- 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。**ペットカートだけでなく使用者も転倒するおそれがあります。**
- 風の強いときは使用しないでください。
勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。
- 雷のときは使用しないでください。落雷のおそれがあります。
- 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での放置、保管は避けてください。
故障や変形の原因となります。
- **車体やキャリーの上に荷物などを重ねたり、圧力が加わるような状態で保管し**ないでください。故障や変形の原因となります。
- **車体を立てた状態で保管する場合は、必ずストッパーをかけてください。車体**が動き出し転倒するおそれがあります。
- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ご使用の前に、締結部品などにゆるみがないか確認してください。
ゆるみがある場合は使用せず、必ず当社コンシューマープラザにご連絡ください。重大な事故につながるおそれがあります。
- 長時間連続してのご使用は、**愛犬の負担となります。**
1時間以 内で休憩をとるなどしてください。
- バスの中では使用しないでください。本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
- 本製品は、**電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。**
お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、鉄道会社へ本製品の利用条件確認の上で、ご使用ください。また、電車の中では、カーブや急ブレーキなどで転倒するおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、十分注意してご使用ください。

点検とアフターサービスについて

●ご使用中に車体の破損、異常、締結部品のゆるみや**カバーおよびベルト**にやぶれ・ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、ただちに使用を中止して当社コンシューマープラザにご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながるおそれがあります。お問い**合わせの際は、後脚後側に貼ってあるシール**をご覧になって製品名・ロットNo. をお知らせください。

●締結部品のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか適時点検してください。

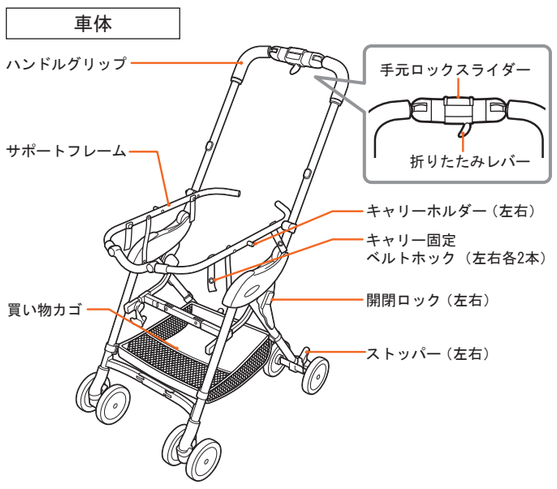
●お手入れの際に取りはずした**部品は、本書をよく読み正しく取り付けてくださ**い。取りはずしたままですと**思わぬ事故につながるおそれがあります。**

●本製品の修理／部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があり、色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。製品使用上は差しつかえありません。

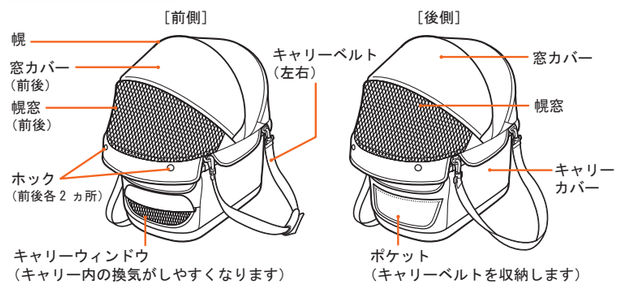
各部のなまえ

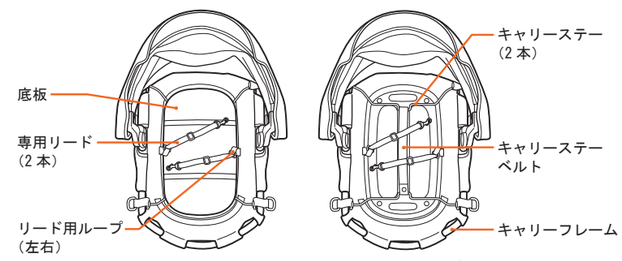
箱の中には次のものが入っています。箱を開けたらすべてそろっていることを確認してください。
・車体
・キャリー
・取扱説明書（本書）

車体



キャリー





（※上図は、底板をはずしたイラストです）

日常のお手入れ

縫製品の洗濯について

●キャリーカバー、底板カバー、買い物カゴの洗濯
- 洗濯機は使用しないでください。
- きついもみ洗いはしないでください。
- 通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよくお読みください。
- 長時間つけ置きせず、短時間で洗い上げてください。色落ちの原因となります。
- 十分にすすぎ、軽く脱水した後、形を整えて陰干ししてください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。

●幌、専用リード、キャリーベルト、**キャリーステーベルトの洗濯**
- **幌、専用リード、キャリーベルト、キャリーステーベルトは液中につけず、30℃**以下の液温の洗剤をつけたブラシやスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分を**ふき取り、陰干ししてください。**

※ 幌や**置い物カゴのプラスチック部分などでケガをしないように注意してください。**
※ キャリーステーベルトは取りはずすことができません。
※ 製品の特性上若干色あせすることがあります。
※ **洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤・漂白剤入の洗剤は肌荒れ、湿疹のおそれ**がありますので使用しないでください。
※ 保管状態により、カビが発生する可能性があります。こまめに**洗濯をし、清潔に保つよう心**がけてください。

車体の清掃について

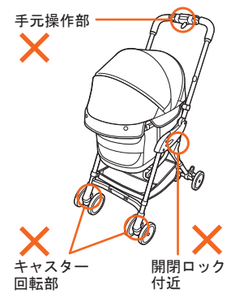
⚠注意　車体の清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

●車輪やプラスチック部品および金属部品の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含んだ布でふいた後、水を含ませよくしぼった布でふき取り洗剤分が残らないようにします。

注油について

● きしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず、潤滑油（シリコーン系）**を少量、注**油してください。注油するときは、注**油部分の泥や汚れをあらかじめふき**取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。

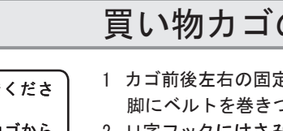
● 右に示す**部分には注油しないでくだ**さい。作動不良を起こす原因となります。



保管のしかた

直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に立てて保管してください。
屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。

⚠注意
- 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。
- **車体やキャリーに荷物を重ねた状態で保管をしないでください。故障や**変形の原因となります。
- **車体を立てた状態で保管する場合は、必ずストッパーをかけてください。**車体が動き出し転倒するおそれがあります。
- **車体を寝かせて保管する場合**は、**横向きに寝かせたりしない**でください。**故障や変形の原因**となります。

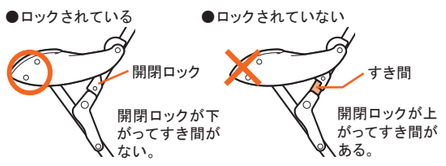


廃棄方法について

お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。

車体の開きかた

⚠警告
- **車体の開閉や、キャリーの合体操作をするときは、そばに**人（特に小さいお子さま）や愛犬を近づけずに行ってください。
指や手などをはさんだりするおそれがあります。
- 使用する前に、開閉ロックがかかっていることを必ず確認してください。急に折りたたまれるおそれがあります。

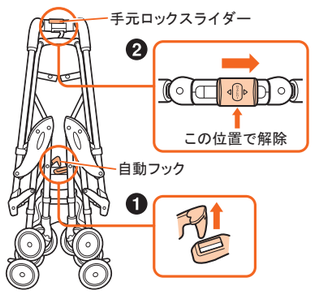


- 手元ロックスライダーを必ずロックして使用してください。無意識に**折りたたみレバーを握ったときなど、急に折**りたたまれるおそれがあります。

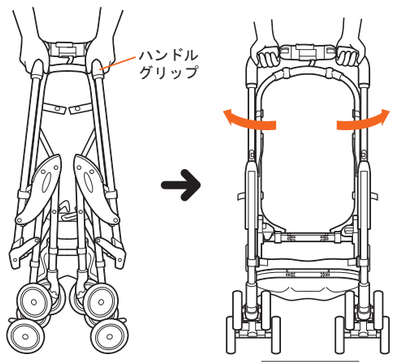
⚠注意　車体を**持ち上げた状態で、折りたたみレバーを握りロックを**解除すると、破損のおそれがあります。

本製品は、２段階に折りたたむことができます。梱包されている状態を３面折り、手順２の状態を２面折りといいます。

1. 1 自動フックを引き上げてはずす。
2 手元ロックスライダーを矢印方向にスライドし、折りたたみのロックを解除する。

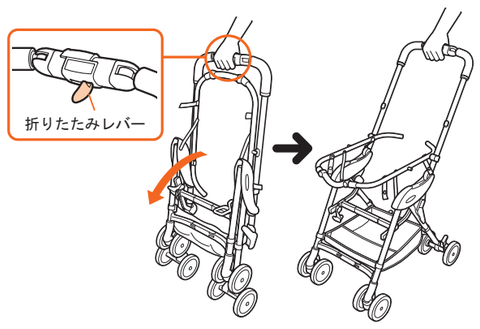


2. ハンドルグリップを両手で握り、折りたたまれている**車体を開く。**



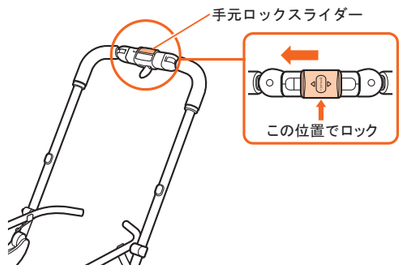
ワンポイント　右図の状態を２面 折りといいます。

3. 折りたたみレバーを握りながら、ハンドルグリップを持ち上げ車体を完全に開く。



ワンポイント　車体を持ち上げた状態では折りたたみレバーを握っても開かないおそれがあります。車体を地面につけた状態から折りたたみレバーを握り操作してください。

4. 手元ロックスライダーを元に戻し、折りたたみをロックする。
折りたたみレバーがロックされます。



ストッパーの使いかた

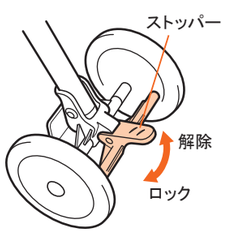
ペットカートを停止させているときには、必ずストッパーのロックをかけてください。路面状態や使用状況により、車輪が浮く場合がありますが、使用上問題ありません。

⚠警告
- **ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていて**も動き出したり、転倒するおそれがあります。
- **愛犬を乗せたままペットカートから離れないでください。**また、ストッパーは左右ともかけてください。ペットカートが動き出したり、転倒するおそれがあります。

⚠注意　空車であっても、ペットカートから離れるときは、必ず左右ともストッパーのロックをかけてください。ストッパーのロックが不完全の場合、動き出すことがあります。

1. 左右後車輪のストッパーを押し下げてロックする。
2. ペットカートを軽く前後に動かして、ストッパーのロックがかかっていることを確認する。

ロックを解除するときは、ストッパーを押し上げる。



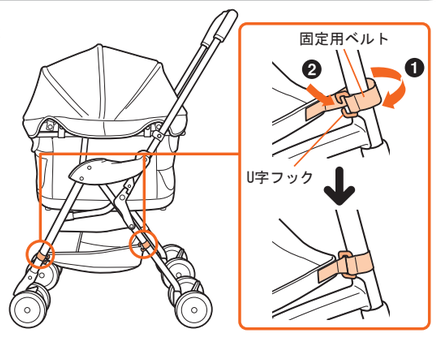
買い物カゴの取り付けかた

⚠注意
- **3kg 以上の荷物はのせないでくださ**い。破損の原因となります。
- 角のとがったものや、**買い物カゴから**はみ出す容積の大きいものは**入れない**でください。
荷物の落下や**買い物カゴの変形およびやぶれの原因となります。**
- **車体を折りたたむときは、荷物を取り**出してください。**車体の破損や荷物の**つぶれの原因になります。

1 カゴ前後左右の固定用ベルトを、前脚後脚にベルトを巻きつけ、
2 U字フック**にはさみ込んで取り付ける。**

取り付け後、しっかりと固定されているか、引っぱって確認する。

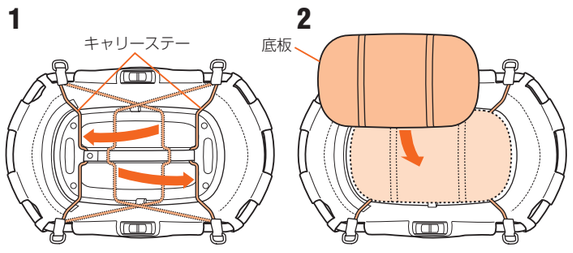
●荷物について
できるだけ買い物カゴの底に均等に荷重が加わるようにのせてください。



キャリーの開きかた・たたみかた

開きかた

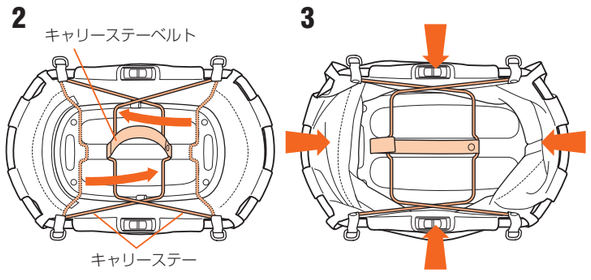
1. キャリーステー（2本）を広げる。
   キャリーステーベルトを完全に伸ばしてください。
2. 底板を入れる。



⚠注意
- キャリーステーを広げたり、たたんだりするときは、指や手などをはさまないように注意し、操作してください。
- 底板は必ず使用してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 専用リードは必ず底板の上に出してください。
- 使用しない専用リードは、必ず取りはずしてください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

たたみかた

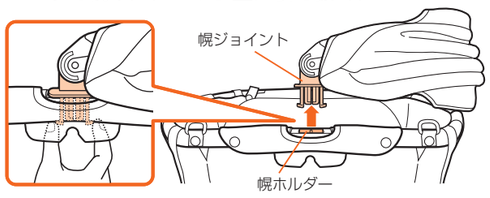
1. 底板をはずす。
2. キャリーステーベルトを引き上げながら、キャリーステー（2本）をたたむ。
3. キャリーをたたむ。



幌の取り付けかた・はずしかた・使いかた

はずしかた

1. 幌前後のホック（各2ヵ所）をはずす。
   （右記の「使いかた」参照）
2. 幌ジョイント下端のツメをつまみながら、幌ジョイントを幌ホルダーから上に引き抜く。



取り付けかた

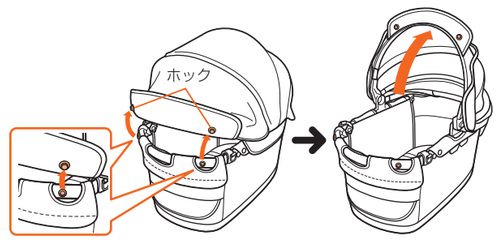
幌ジョイントを幌ホルダーにしっかりと差し込む。

⚠注意
幌の取り付け操作は、そばに人（特に小さいお子さま）や愛犬を近づけずに行ってください。
指や手などをはさんだりするおそれがあります。

ワンポイント
幌の向きは、キャリーに対して前後どちらでも取り付けることができます。

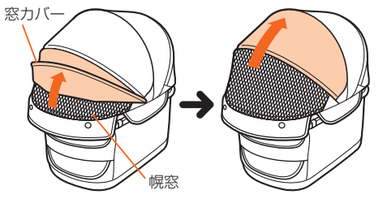
使いかた

開くとき　：幌の前または後のホック（各2ヵ所）をはずし、幌を開く。
閉じるとき：幌を閉じて、幌前後のホック（各2ヵ所）でとめる。



幌窓の使いかた

幌前後の窓カバーをめくり上げ、幌窓を開ける。

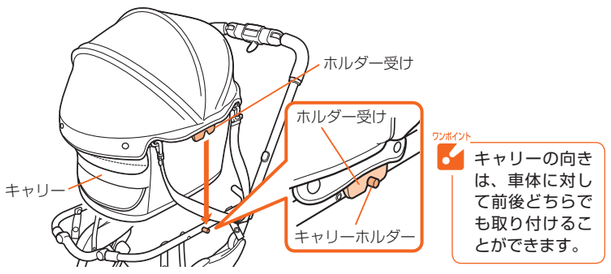


⚠注意
キャリーやペットカートとして使用するときは、必ず幌を閉じてください。
また、ホック（4ヵ所）が確実にとめてあることを確認してください。
愛犬が落ちるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ワンポイント
幌窓やキャリーウィンドウを開けることで、キャリー内の換気がしやすくなります。

キャリーの車体への取り付けかた

1. キャリーをサポートフレームのキャリーホルダーにあわせておろす。

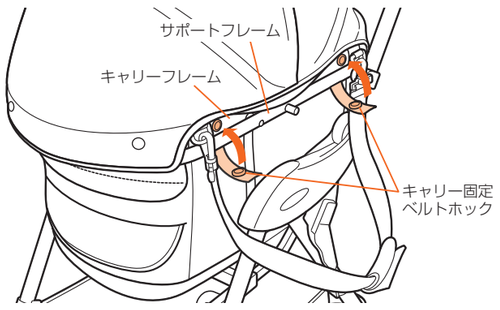


ワンポイント
キャリーの向きは、車体に対して前後どちらでも取り付けることができます。

⚠警告
キャリーを取り付けるときは、必ずストッパーを使用してください。ペットカートが動き出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

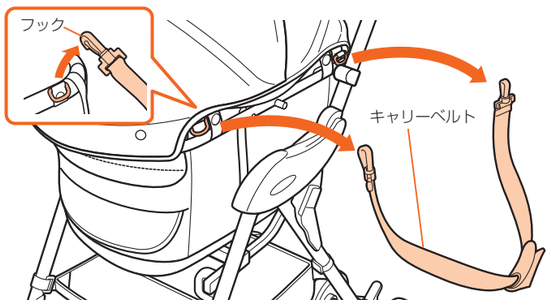
⚠注意
キャリーとサポートフレームのすき間に指や手などをはさまないように注意してください。

2. サポートフレームのキャリー固定ベルトホック（左右各2ヵ所）をキャリーフレームにとめる。



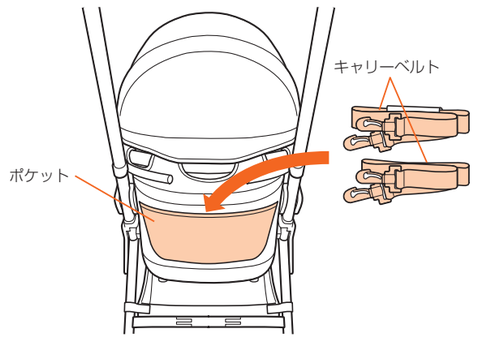
⚠警告
ペットカートとして使用するときは、必ずキャリー固定ベルトホックをとめてください。キャリーが落下するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります

3. キャリーベルトのフック（左右各2ヵ所）をはずし、キャリーベルトを取りはずす。



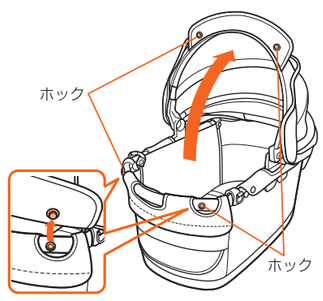
⚠注意
ペットカートとして使用するときは、必ずキャリーベルトをはずしてください。
思わぬ事故につながるおそれがあります。

4. キャリーベルトをたたんで、ポケットに収納する。

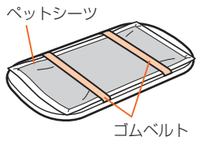


愛犬の乗せかた・おろしかた

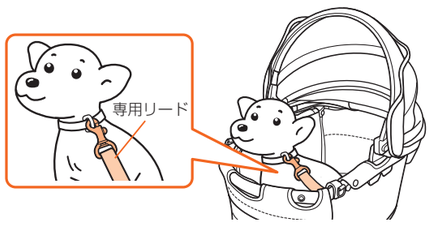
1. 幌の前または後のホック（各2ヵ所）をはずし、幌を開く。



ワンポイント
底板についているゴムベルトを使うと、ペットシーツを固定することができます。

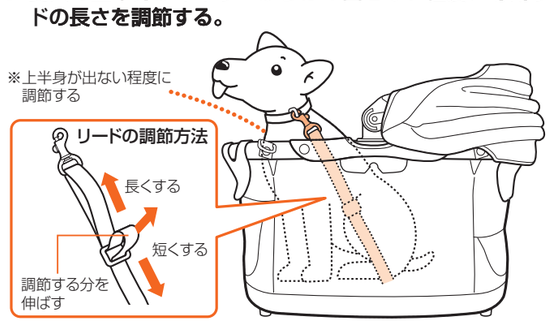


2. 愛犬を乗せて、専用リードにつなぐ。



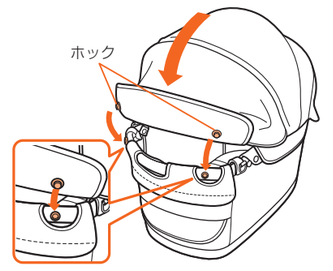
⚠警告
- キャリーやペットカートとして使用するときは、必ず専用リードを使用してください。また、確実に取り付けられていることを確認してから使用してください。愛犬が落下するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 愛犬の乗せおろしのときは、必ずストッパーを使用してください。ペットカートが動き出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 夏季の晴天日中などは、路面の影響によりキャリー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。

3. 愛犬の上半身がキャリーからはみ出さない程度に専用リードの長さを調節する。



⚠注意
専用リードの長さは、必ず調節してください。
思わぬ事故につながるおそれがあります。

4. 幌を閉じて、幌前後のホック（各2ヵ所）をとめる。



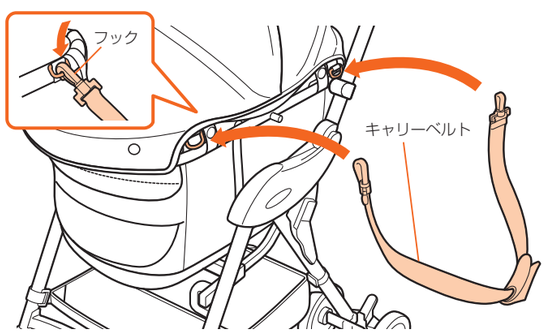
⚠注意
キャリーやペットカートとして使用するときは、必ず幌を閉じてください。また、ホック（4ヵ所）が確実にとめてあることを確認してください。
愛犬が落ちるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

おろしかた

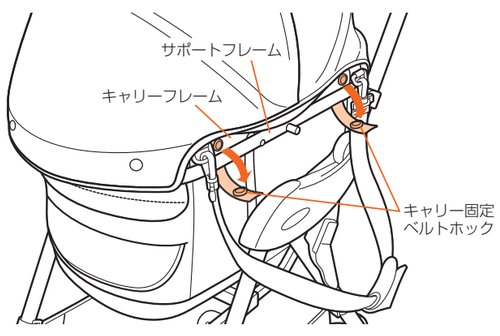
愛犬をおろすときは、「愛犬の乗せかた」の手順を逆に行なってください。

キャリーの取りはずしかた

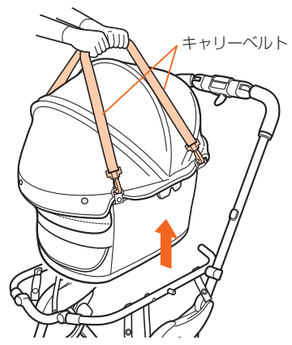
1. キャリーベルトのフック（左右各2ヵ所）をとめ、キャリーベルトを取り付ける。



2. サポートフレームのキャリー固定ベルトホック（左右各2ヵ所）をキャリーフレームからはずす。



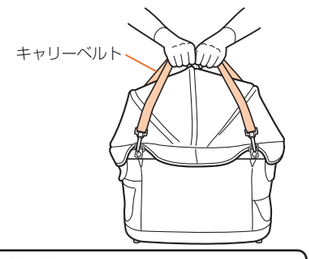
3. キャリーベルトを持ってキャリーを持ち上げ、取りはずす。



⚠警告
キャリーを取りはずすときは、必ずストッパーを使用してください。
ペットカートが動き出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

キャリーの持ちかた

1. キャリーベルト（2本）をあわせる。
2. 両手でしっかりとキャリーベルトを握り、持ち上げる。



⚠警告
- キャリーは、必ず両手を使って持ち運んでください。
  キャリーが落下するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- キャリーやペットカートとして使用するときは、必ず幌を閉じてください。また、ホック（4ヵ所）が確実にとめてあることを確認してください。
  愛犬が落ちるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- キャリーをテーブルやイスの上など落ちるおそれのある場所や階段・段差・傾斜のある場所、また、タイルなどすべりやすい場所での使用はやめてください。落下や転倒などのおそれがあります。

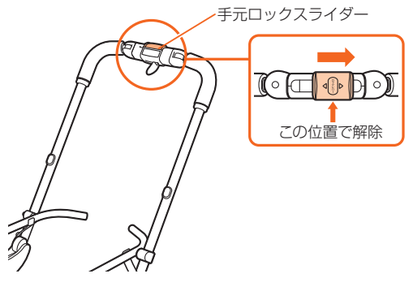
車体の折りたたみかた

⚠警告
車体の開閉や、キャリーの合体操作をするときは、そばに人（特に小さいお子さま）や愛犬を近づけずに行ってください。指や手などをはさんだりするおそれがあります。

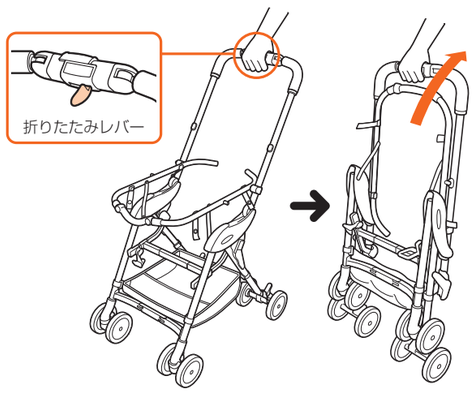
⚠注意
- 手元ロックスライダーをスライドさせずに折りたたみレバーを握らないでください。
  無理に握ると破損するおそれがあります。
- 手元ロックスライダーは折りたたみ後、必ずロックしてください。
  また、折りたたみ操作以外は折りたたみレバーを握らないでください。
- 何かに引っかかっていたり、はさみ込まれている感じがあった場合には、1度開いて原因を確認してください。
  無理に折りたたむと破損するおそれがあります。
- 折りたたむときは、買い物カゴに何も入っていないことを確認してください。ペットカートの破損や荷物のつぶれの原因となります。

●ペットカートは，2面折りと3面折りの両方で折りたたむことができます。

1. キャリーを取りはずす。（「キャリーの取りはずしかた」参照）
2. 手元ロックスライダーを矢印方向にスライドし、折りたたみのロックを解除する。

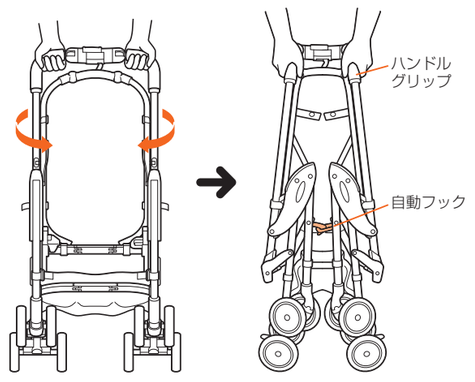


3. 2面折りにするには、折りたたみレバーを握りながら、後車輪を支点にして矢印方向に倒す。

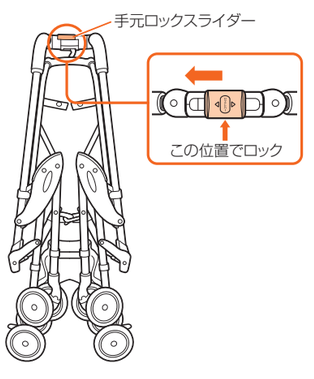


⚠注意
2面折りの状態では車体を自立させることができません。自立させる場合には、3面折りにしてください。

4. 3面折りにするには、折りたたみレバーから手を離し、左右のハンドルグリップを逆手で持ち、内側にたたむ。
   必ず自動フックがかかったかを確認してください。



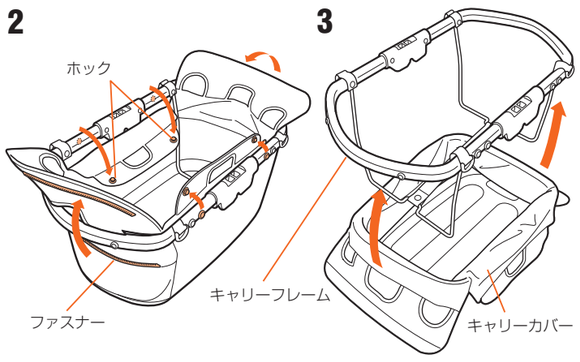
5. 手元ロックスライダーを元に戻し、折りたたみをロックする。
   折りたたみレバーがロックされます。



部品の取りはずしかた・取り付けかた

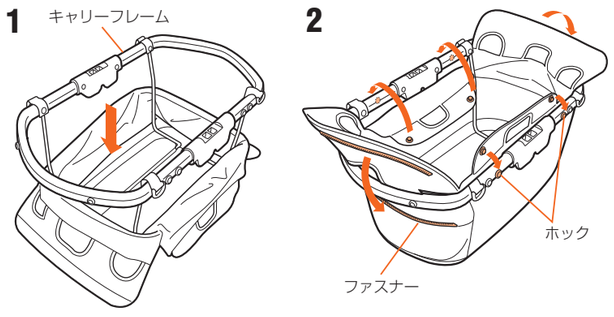
キャリーカバーの取りはずしかた

1. 幌をはずす。（「幌のはずしかた」参照）
2. ファスナー（2ヵ所）をはずし、ホック（4ヵ所）をはずす。
3. キャリーフレームからキャリーカバーを取りはずす。



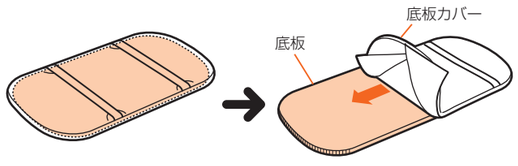
キャリーカバーの取り付けかた

1. キャリーステーを広げてキャリーフレームをキャリーカバーに入れる。
2. キャリーカバーのフック（4ヵ所）をとめ、ファスナー（2ヵ所）をとめる。

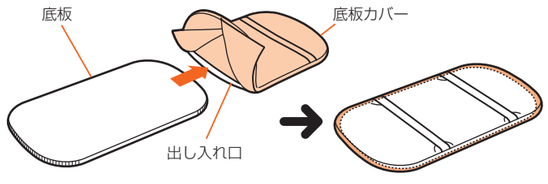


底板カバーの取りはずしかた・取り付けかた

底板から底板カバーを取りはずす。

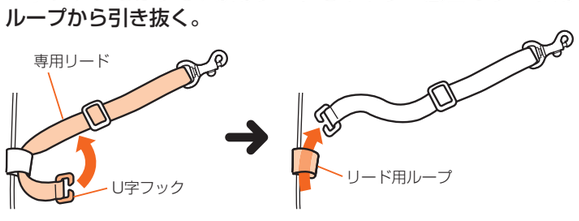
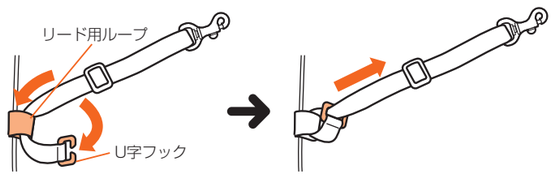


底板に底板カバーを取り付ける。



専用リードの取りはずしかた・取り付けかた

U字フックをはずし、専用リードをキャリー底面のリード用ループから引き抜く。



キャリー底面のリード用ループに専用リードを通し、U字フックを取り付けて固定する。